



自衛隊栃木地方協力本部

大田原産業文化祭で広報展 ～白いパジェロを展示・緑のイメージを変える～



自衛隊栃木地方協力本部大田原地域事務所（所長 松田 陸尉）は、11月1日（土）、2日（日）大田原商工会議所が主催する大田原産業文化祭において、大田原市家族会（会長 柴田氏）、東部方面特科連隊第2大隊（宇都宮）及び第125地区警務隊宇都宮派遣隊の支援も受け広報展を実施した。大田原産業文化祭は、「地域密着のお祭り」であり、地元企業、団体、サークルなど多数の出店があり、多くの来場者で賑わった。

自衛隊ブースでは、両日とも車両を展示した。1日は11／2トトラック（中型トラック）、2日は警務隊車両の1／2トトラック（指揮・連絡・警務用）の白いパジェロを展示した。来場者からは、「なんで自衛隊の車なのに白いの?」など、自衛隊での緑の車以外の展示に興味を示す声が多かった。警務隊の隊員から「自衛隊内の犯罪捜査、警護、犯罪予防などの秩序を保つ仕事のための車です」という説明に、納得とともに感心した様子であった。また、元302保安中隊に所属していた隊員からの特別儀仗よう隊についての説明では、「特別儀仗よう隊ですごくかっこいいですね!うちの子どもと一緒に写真を撮ってください」とリクエストされる場面もあり、盛況のうちに終了した。

大田原地域事務所は、「今後も幅広い広報を実施し、自衛隊の魅力に来場者に深めていきたいと考える。また、地域に密着して、募集広報の強化を図っていく」としている。

